

あなたの肝臓、 そして命を守るために

大曲仙北医師会

中島医院 中島 康 医師

① 肝炎に対する正しい知識

肝臓は病気にかかっても、すぐには症状がでにくいことから「沈黙の臓器」と呼ばれます。日本ではB型およびC型肝炎ウイルスの患者、感染者が合わせて300万人を超えると推定されており、国民40人に1人に当たると推計されています。

B型、C型肝炎は慢性肝炎の原因となり、ほとんど自覚症状がないだけに放置しがちですが、やがて肝硬変、さらに肝がんへと進行することがあります。

肝がんの原因の約80%はB型、C型のウイルス性肝炎です。このように原因がはつきりしているので、肝がんは

予防可能ながんの一つといわれています。

● B型肝炎／わが国のB型肝炎の持続感染者のほとんどが出産時の母子感染ですが、1986年（昭和61年）以降は感染防止対策がとられています。近年は、性交渉を中心に大人になつてからの感染が増えています。

B型肝炎の持続感染者の約90%は無症候性キャリアと呼ばれる、特に治療の必要のない状態が生産続きます。約10%の人が慢性肝炎となり、放置すると肝硬変、肝がんへと向かう可能性があります。

● C型肝炎／手術や出産時の輸血、血液製剤などによる感染が多数を占め

ますが、1990年以降は対策がとられています。そのほか注射針・注射器の使いまわし（戦後から1970年代にかけての予防接種や、薬物乱用者の注射）などが原因と考えられます。

C型肝炎は慢性化しやすく（約70%）、20～50年かけて肝硬変や肝がんに進む可能性が高く注意が必要です。特に40～50歳を過ぎてから病気の進行が速くなる傾向がみられます。

② 肝炎ウイルス検診について

B型、C型ウイルス性肝炎は、現在では感染予防対策が進んでいるため、通常の生活では新たに感染することは

極めて稀になっています。

しかし、過去には誰でも感染する可能性があった病気だったため、40歳以上の方はそれより下の世代に比べて感染しているリスクが高いといえます。

自覚症状が出にくいウイルス性肝炎の早期発見には肝炎ウイルス検査がぜひ必要です。現在では治療法が大きく進歩しており、肝炎のコントロールや場合によっては根治も可能となります。

検査は採血による血液検査で行います。B型肝炎については、HBs抗原検査で感染の有無を判定します。C型肝炎については、HCV抗体検査とHCVコアタンパク検査、HCV-RNA検査の組み合わせで感染の有無

を判定します。

秋田県では保健所と委託医療機関において、無料で肝炎ウイルスの検査を受けることのできる体制を整備しています。また、市町村においても住民健診の一環として肝炎ウイルス検査を実施しています。

今後、新たに感染することはほとんどないため、現在感染しているかどうか、一生に一度は検査を受けるようにしましょう。

③ 肝炎ウイルス検診で要精検になったとき

B型、C型肝炎のどちらかに感染している場合、ほとんどの場合、これまで通りの日常生活を送るのにとくに支障ありません。ただ、肝臓の状態によっては、定期的な検査やウイルスを抑える治療が必要になる場合があります。一度、きちんと医療機関で精密検査を受けるようにしましょう。

また、すでに感染がわかっていて現在通院していない方も、ぜひ相談してください。

B型肝炎、C型肝炎の治療法はこの数年に大きな進展がみられています。

B型肝炎に対しては、核酸アナログ製剤の飲み薬によりウイルスの増殖を抑える治療が主体となっています。35歳以下の若年者にはインターフェロン治療（注射）も検討されます。

C型肝炎に対しては、インターフェロン単独治療、インターフェロンとロソニン併用、インターフェロンとパピリン併用、テラプレビル3剤併用などが行われています。また、インターフェロンを使わずに飲み薬だけで行う副作用の少ない次世代治療が近い将来に使用できるようになりそうです。

B型肝炎、C型肝炎ともに、治療の目的は、肝硬変、肝臓がんへと続く連鎖を断ち切ることです。しかし、治療にはコストがかかるのと副作用があるので、抗ウイルス治療を行うべきか、いつ開始すべきか、どの治療を選択すべきかの決定は容易ではなく十分な知識と情報に基づいて決定する必要があります。

現在は、B型、C型肝炎のインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療には、医療費の助成制度が用意されており、経済的な負担は軽減されています。

☆

B型、C型肝炎は、通常の日常生活で他人に感染させる心配はありません。食器の区別は不要ですし、お風呂、トイレ、洗濯などで感染することもありません。以前に、肝炎患者さんで、「うつすのが心配で孫を抱いたことがない」という方がいましたが、そんな心配は全くありません。

- 仙北市の肝炎ウイルス検診は、毎年40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳になられる方にご案内をしています。
問合せ／仙北市保健課 ☎55-1112

- 市の検診を受けられない方は、秋田県で実施している保健所や指定医療機関でも肝炎ウイルス検査を無料で受けることができます。
問合せ／大仙保健所
健康・予防課 ☎0187-63-3403



秋田県マスコット スギッチ

